



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 5984 URL <https://www.kanefusa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 磯谷 岳摩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐築 賢治 TEL 0587-95-2821
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,968	△6.4	362	△39.1	638	△25.4	431	△28.9
2023年3月期第1四半期	5,308	17.0	594	48.1	856	114.7	607	95.1

（注）包括利益 2024年3月期第1四半期 279百万円（△69.1％） 2023年3月期第1四半期 905百万円（0.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	31.07	—
2023年3月期第1四半期	43.73	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	33,262	27,393	82.4
2023年3月期	33,865	27,399	80.9

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 27,393百万円 2023年3月期 27,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	20.50	28.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△5.3	900	△37.5	850	△48.9	500	△60.8	35.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	14,310,000株	2023年3月期	14,310,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	409,812株	2023年3月期	409,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	13,900,188株	2023年3月期1Q	13,900,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では雇用環境を背景に底堅い動きがみられるものの、物価は依然高水準を保っており、インフレの影響による個人消費抑制や企業のコスト増などにより景気は足踏みしております。一方、わが国経済は、行動制約の解消が進み、個人消費は対面型サービスに回復の動きがみられますが、企業活動においては、物価上昇によるコスト増加や人手不足の深刻化への懸念から、先行きへの不透明感が残ったままです。

このような状況の下、当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしましたが、今年に入り受注が低迷した影響により前年同期を下回る結果となりました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から減少しました。また、海外での売上も、東南アジアおよび中国向けが減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は49億6千8百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

利益面につきましては、中国およびベトナムでの売上原価率が上昇したことなどから、営業利益は3億6千2百万円（前年同期比39.1%減）となりました。営業外収益として為替差益を2億9千4百万円計上したことなどから経常利益は6億3千8百万円（前年同期比25.4%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億3千1百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向けでは、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに減少し、海外向けでは自動車関連刃物および木工関連刃物が減少したことから、売上高は37億3千7百万円（前年同期比13.3%減）となり、営業利益は9千2百万円（前年同期比76.3%減）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物などが減少したことから、売上高は9億2千3百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は4千1百万円（前年同期比65.5%減）となりました。

③ 米国

鋼管関連刃物および自動車関連刃物が増加したことから、売上高は5億4千4百万円（前年同期比37.9%増）、営業利益は3千9百万円（前年同期比52.4%増）となりました。

④ 欧州

紙工関連刃物は増加したものの鋼管関連刃物および製紙関連刃物が減少したことから、売上高は6億3千万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は1千5百万円（前年同期比74.1%減）となりました。

⑤ 中国

中国国内における経営環境の悪化により、売上高は3億8千6百万円（前年同期比23.6%減）、営業損失は9千1百万円（前年同期は1千2百万円の営業損失）となりました。

⑥ ブラジル

自動車関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は1億8千3百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益は2千9百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

⑦ ベトナム

自動車関連刃物および鋼管関連刃物などが減少したことから、売上高は1億6千8百万円（前年同期比24.7%減）、営業損失は1千1百万円（前年同期は4千6百万円の営業利益）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期末における流動資産は180億円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千2百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が14億3千万円減少したことなどによるものであります。固定資産は152億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が前連結会計年度末に比べ、8千4百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、332億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期末における流動負債は38億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千8百万円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が2億7千9百万円減少し、流動負債その他が2億6千6百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は20億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加いたしました。これは長期借入金が1億6百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、58億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9千7百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期末における純資産合計は273億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が1億4千6百万円増加したものの、為替換算調整勘定が2億3百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.4%（前連結会計年度末は80.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日（2023年8月9日）公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,835,700	5,405,333
受取手形及び売掛金	3,736,414	3,614,483
電子記録債権	913,631	899,113
商品及び製品	3,084,119	3,513,131
仕掛品	1,159,194	1,261,643
原材料及び貯蔵品	2,446,221	2,722,216
その他	649,690	611,000
貸倒引当金	△31,731	△26,458
流動資産合計	18,793,241	18,000,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,666,482	4,634,826
機械装置及び運搬具(純額)	4,778,910	4,891,549
その他(純額)	3,956,710	3,960,680
有形固定資産合計	13,402,103	13,487,056
無形固定資産	861,124	857,824
投資その他の資産	809,004	916,928
固定資産合計	15,072,232	15,261,809
資産合計	33,865,473	33,262,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,552,330	1,402,044
電子記録債務	360,689	340,613
1年内返済予定の長期借入金	89,037	96,679
未払法人税等	244,237	154,230
賞与引当金	405,837	126,543
その他	1,960,880	1,693,910
流動負債合計	4,613,013	3,814,021
固定負債		
長期借入金	1,246,262	1,353,220
退職給付に係る負債	132,061	141,412
その他	475,019	559,820
固定負債合計	1,853,343	2,054,453
負債合計	6,466,356	5,868,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	21,534,681	21,681,629
自己株式	△208,831	△208,831
株主資本合計	25,636,239	25,783,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,413	234,171
為替換算調整勘定	1,590,364	1,387,235
退職給付に係る調整累計額	△10,901	△10,795
その他の包括利益累計額合計	1,762,876	1,610,611
純資産合計	27,399,116	27,393,799
負債純資産合計	33,865,473	33,262,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,308,904	4,968,474
売上原価	3,487,971	3,382,774
売上総利益	1,820,932	1,585,700
販売費及び一般管理費	1,226,785	1,223,674
営業利益	594,147	362,025
営業外収益		
受取利息	1,504	3,652
受取配当金	4,528	3,625
為替差益	276,742	294,120
その他	6,714	4,199
営業外収益合計	289,490	305,598
営業外費用		
支払利息	4,616	21,406
デリバティブ評価損	21,482	6,954
その他	1,274	575
営業外費用合計	27,373	28,936
経常利益	856,264	638,687
特別利益		
固定資産売却益	49,285	788
投資有価証券売却益	450	—
特別利益合計	49,735	788
特別損失		
固定資産売却損	19	—
固定資産除却損	1	907
特別損失合計	21	907
税金等調整前四半期純利益	905,978	638,568
法人税等	298,165	206,667
四半期純利益	607,813	431,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	607,813	431,901

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	607,813	431,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,578	50,757
為替換算調整勘定	347,366	△203,129
退職給付に係る調整額	1,636	106
その他の包括利益合計	297,425	△152,264
四半期包括利益	905,238	279,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,238	279,636
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(退職給付債務の計算方法の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している連結子会社P.T.カネフサインドネシアでは、従来より退職給付の勤務期間への帰属についてIAS第19号を適用し、従業員の勤務期間に応じて退職給付債務を認識する会計処理を行っていましたが、2021年5月のIFRS解釈指針委員会アジェンダ決定「給付の勤務期間への帰属(IAS第19号)」及び2022年4月にインドネシアの会計基準設定主体(DSAK-IAI)が発行した「給付金を勤務期間に帰属させることに関するプレスリリース(PSAK 24プレスリリース)」を踏まえて、前連結会計年度より、退職給付を帰属させる勤務期間を見直し、退職給付を支給する義務が発生する期間に退職給付債務を認識する方法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比較して、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書においては、営業利益は2,238千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は2,753千円、それぞれ増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は64,246千円、為替換算調整勘定は5,116千円、それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額は5,766千円減少しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	1,075,199	646,863	65,440	206,430	142,230	35,301	8,687	2,180,152
精密刃具類	931,491	42,337	15,945	10,330	14,008	—	2,285	1,016,399
丸鋸類	2,117,363	255,312	307,197	426,809	346,406	121,880	213,056	3,788,027
商品他	186,510	32,735	6,105	644	2,929	3,050	229	232,205
顧客との契約 から生じる収 益	4,310,565	977,249	394,688	644,214	505,575	160,233	224,259	7,216,785
外部顧客への 売上高	3,048,382	577,584	394,639	644,214	239,285	160,233	53,458	5,117,798
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,262,183	399,664	48	—	266,289	—	170,800	2,098,986
計	4,310,565	977,249	394,688	644,214	505,575	160,233	224,259	7,216,785
セグメント利益 又は損失 (△)	390,301	119,738	25,735	60,408	△12,345	24,084	46,019	653,941

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	4,894	2,185,047	△489,096	1,695,950
精密刃具類	9,096	1,025,495	△58,028	967,467
丸鋸類	173,525	3,961,552	△1,391,937	2,569,615
商品他	3,634	235,840	△159,969	75,870
顧客との契約 から生じる収 益	191,150	7,407,935	△2,099,031	5,308,904
外部顧客への 売上高	191,105	5,308,904	—	5,308,904
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	45	2,099,031	△2,099,031	—
計	191,150	7,407,935	△2,099,031	5,308,904
セグメント利益 又は損失 (△)	15,684	669,626	△75,479	594,147

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△75,479千円には、セグメント間取引消去△23,688千円、棚卸資産の調整額△47,674千円、その他△4,116千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	957,137	603,807	88,508	218,734	146,260	38,771	4,695	2,057,915
精密刃具類	958,995	45,295	47,837	14,798	7,357	—	9,832	1,084,117
丸鋸類	1,671,873	248,356	397,906	395,655	220,776	141,500	154,284	3,230,353
商品他	149,691	26,253	10,174	1,178	11,733	2,843	—	201,874
顧客との契約 から生じる収益	3,737,697	923,713	544,427	630,366	386,127	183,115	168,812	6,574,261
外部顧客への 売上高	2,587,510	540,658	544,427	630,282	172,103	183,115	42,243	4,700,342
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,150,186	383,054	—	84	214,024	—	126,569	1,873,918
計	3,737,697	923,713	544,427	630,366	386,127	183,115	168,812	6,574,261
セグメント利益 又は損失(△)	92,540	41,280	39,208	15,647	△91,719	29,904	△11,249	115,611

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	15,159	2,073,075	△465,210	1,607,864
精密刃具類	10,350	1,094,467	△105,312	989,155
丸鋸類	233,329	3,463,682	△1,167,301	2,296,380
商品他	9,337	211,212	△136,139	75,073
顧客との契約 から生じる収益	268,176	6,842,437	△1,873,963	4,968,474
外部顧客への 売上高	268,131	4,968,474	—	4,968,474
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	45	1,873,963	△1,873,963	—
計	268,176	6,842,437	△1,873,963	4,968,474
セグメント利益 又は損失(△)	6,849	122,460	239,564	362,025

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額239,564千円には、セグメント間取引消去57,874千円、棚卸資産の調整額182,086千円、その他△395千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

1. 当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「ブラジル」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。
2. (会計方針の変更) に記載のとおり、退職給付債務の計算方法を変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間については、当該会計方針を遡及適用した後のセグメント情報となっております。当該変更により、従来の方法に比べて、前第1四半期連結累計期間のインドネシアセグメントのセグメント利益は2,342千円増加し、セグメント利益又は損失の調整額は104千円減少しております。